

【けんみんホールの検討】

1 現状等

(1) 県民会館・旧県民小劇場の利用状況

区分	利用率	利用日数	利用状況の内訳																
けんみんホール（9階） 定員：360名	71.8% (H29)	255日/ 355日 うち音楽利用 45日 講演等利用 210日	① 利用率：平日 45%、休日 56% ② 利用形態別利用率 <table border="1"> <tr> <td>音楽</td> <td>13%</td> <td>平日 6%、休日 27%</td> </tr> <tr> <td>講演会等</td> <td>59%</td> <td>平日 61%、休日 54%</td> </tr> </table> ③ 平均入場者数 <table border="1"> <tr> <td>音楽</td> <td>平均 185人</td> <td>12~350人</td> </tr> <tr> <td>講演会等</td> <td>平均 200人</td> <td>30~350人</td> </tr> </table> ④ 利用料金（休日） <table border="1"> <tr> <td>9:00~17:00</td> <td>56,800円</td> </tr> <tr> <td>終日</td> <td>85,200円</td> </tr> </table> ※①②の利用率は午前・午後・夜間の3区分による算定	音楽	13%	平日 6%、休日 27%	講演会等	59%	平日 61%、休日 54%	音楽	平均 185人	12~350人	講演会等	平均 200人	30~350人	9:00~17:00	56,800円	終日	85,200円
音楽	13%	平日 6%、休日 27%																	
講演会等	59%	平日 61%、休日 54%																	
音楽	平均 185人	12~350人																	
講演会等	平均 200人	30~350人																	
9:00~17:00	56,800円																		
終日	85,200円																		

※参考

区分	利用率	利用日数	利用状況の内訳												
旧県民小劇場（西館B1階） 定員：413名 ※H21~一般利用停止	64.2% (H18)	212日/ 330日 うち音楽利用 88日 演劇利用 20日 舞踊利用 7日	① 利用形態別利用率 <table border="1"> <tr> <td>音楽</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td>演劇</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>舞踊</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>行政目的の会議・研修</td> <td>47%</td> </tr> </table> ② 利用料金（休日） <table border="1"> <tr> <td>9:00~17:00</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td>終日</td> <td>38,000円</td> </tr> </table>	音楽	41%	演劇	9%	舞踊	3%	行政目的の会議・研修	47%	9:00~17:00	25,000円	終日	38,000円
音楽	41%														
演劇	9%														
舞踊	3%														
行政目的の会議・研修	47%														
9:00~17:00	25,000円														
終日	38,000円														

(2) 近隣ホールの状況

名称	ホール定員	種類	規模	舞台寸法(m)	
① 県民会館（けんみんホール）	360人	多目的	小	間口×奥行 9.0×4.75	
② 新長田勤労市民センター（ピフレホール）	414人			11.0×6.0	
③ 東灘区民センター（うはらホール）	630人		中	15.45×8.7	
④ 神戸市産業振興センター（ハーバーホール）	397人		小	11.0×6.5	
⑤ 神戸芸術センター（音楽ホール）	130人×3ホール	舞台芸術	小	8.0×4.5	
⑥ 神戸芸術センター（芸術劇場）	1100人			20.0×8.0	
⑦ 神戸新聞松方ホール（松方ホール）	706人			10.8×7.2	
⑧ 神戸文化ホール（中ホール）	904人		中	16.0×16.0	
⑨ 神戸文化ホール（大ホール）	2,043人			22.2×16.0	
⑩ 神戸国際会館（こくさいホール）	2,112人			大	21.6×18.0
⑪ 県立芸術文化センター（大ホール）	2,001人				29.0×23.5

旧県民小劇場（H21~一般利用停止）	413人	多目的	小	9.0×7.0	
（神戸市再整備 検討中）	新文化ホール（大ホール）	1,500人以上	舞台芸術	大	—
	※市役所2号館 新文化ホール（中ホール）	700~900人程度	音楽	中	—
	区民ホール（小ホール）	500人程度	多目的	小	—

2 検討項目

- ① 利用者数（平均約 200 人）に見合った規模
- ② 夜間の利用促進（夜間約 30%、昼間約 60%）
- ③ 舞台芸術用ホールとしての機能の追加
- ④ 楽屋、リハーサル室等付属設備の拡充

3 近隣類似施設との役割分担と客席数の整理

客席数	200	400	600	800	1000	1200	1400	1600	1800	2000
区分	小ホール		中ホール			大ホール				
視覚	細かい表情		細かな動作		身振り程度の表現			出演者全体の動き		
聴覚	ささやき・語り		歌等による大きな発声法					電氣的拡声		
演目	室内楽・ソロ		オーケストラ							
	バレエ・ダンス・舞踊									
	ミュージカル									
	演劇		商業演劇							
	寄席・能・日本舞踊・文楽		歌舞伎							
	オペレッタ・室内オペラ		グランドオペラ							
	ライブコンサート		ポピュラー音楽							
	セミナー・講演会等									

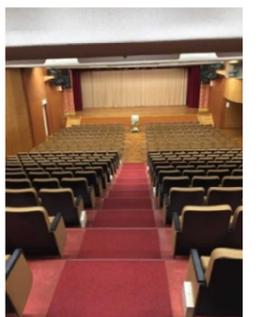
（大和市HPより抜粋し作成）

距離	ホール									
3km圏内	▲神戸市産業振興センター（ハーバーホール） ▲神戸（新）小ホール	▲神戸新聞松方ホール	▲神戸（新）中ホール				▲神戸（新）大ホール			▲神戸国際会館（こくさいホール）
5km圏内	▲神戸芸術センター（音楽ホール）						▲神戸芸術センター（芸術劇場）			
10km圏内	▲新長田勤労市民センター（ピフレホール）	▲東灘区民センター（うはらホール）								
10km以上	▲県立芸術文化センター小ホール		▲県立芸術文化センター中ホール							▲県立芸術文化センター大ホール

4 新ホール(案)

■ 多目的ホールの機能に、音楽・舞踊等、舞台芸術用ホールとしての機能を追加する。

- ① 客席数 400~500 席（前方可動椅子）
- ② 利用しやすい舞台裏の動線を確保（楽屋、搬入用 EV 等の配置）
- ③ 楽屋、リハーサル室、スタジオを設置



# 【アートギャラリーの検討】

## 1 現状等

### (1) 県民会館の利用状況

区分	利用率	利用日数	利用状況の内訳				
ギャラリー (1階) 特別展示室(78㎡) (2階) 大展示室(346㎡) 中展示室(176㎡) 小展示室(50㎡)	平均 55.7%	182日/ 327日	①ギャラリー別利用率				
			特別展示室	平均 52%	平日 39%、休日 80%		
			大展示室	平均 76%	平日 67%、休日 95%		
			中展示室	平均 60%	平日 50%、休日 80%		
			小展示室	平均 35%	平日 27%、休日 53%		
			②利用形態別構成比				
			区分	書道	絵画	工芸	その他
			特別	25%	56%	8%	11%
			大中小	22%	55%	15%	8%
			③利用種別構成比				
種類	H29年度	H28年度					
会員展	62%	50%					
公募展	13%	15%					
会員展・公募展	16%	25%					
グループ展	4%	5%					
個展	0%	5%					
児童・学生展	4%	0%					
④利用料金(1日につき)							
特別展示室	25,800円						
大展示室	29,000円						
中展示室	15,400円						
小展示室	11,700円						

### (2) 近隣ギャラリーの状況

名称	面積	規模	天井高 m
①県民会館	特別展示室	78㎡	小 3.0
	大展示室	346㎡	大 3.24
	中展示室	176㎡	中 3.24
	小展示室	50㎡	小 2.5
②県学校厚生会館(アートホール神戸)	163㎡	中	2.64
③こうべまちづくり会館(地下ギャラリー)	178㎡		3.0
④サンパルギャラリー(2F)	150㎡		2.6
⑤県立神戸生活創造センター(県民ギャラリー)	106㎡		2.8
⑥KIITO(KIITOホール)	950㎡	大	最大 12.0
⑦県立美術館(ギャラリー棟)	814㎡		7.2
⑧県立美術館王子分館(原田の森ギャラリー)	本館1F		600㎡
	本館2F	1,300㎡	特大 4.8

## 2 検討項目

- ① 利用形態(会員展、グループ展、公募展等)に見合った規模
- ② 特別展示室設置
- ③ 平日利用の促進(平日約50%、休日約80%)
- ④ 可動式展示パネルやバックヤード等の付属設備の拡充

## 3 近隣類似施設との役割分担、規模と展示内容・形態

広さ(㎡)		100	200	400	600	800	1000	1200
区分		小展示室	中展示室		大展示室		特大展示室	
分野	書道 日本画 洋画 工芸、陶芸、立体	個展			会員・グループ展			公募展・児童・学生展
	写真	個展	会員・グループ展			公募展		
	総合				会員・グループ展			公募展・児童・学生展

距離	ギャラリー							
1km圏内		▲学校厚生会館アートホール ▲こうべまちづくり会館						
2km圏内		▲神戸生活創造センター県ギャラリー						
3km圏内		▲サンパルギャラリー					▲KIITOホール	
4km以上					▲原田の森 ギャラリー本館1F	▲県立美術 館ギャラリー棟		▲原田の森 ギャラリー本館2F

## 4 新ギャラリー(案)

■ 現行の小展示室を廃止し、1/2使用可能な大展示室を設置する。

- ① 天井高4m以上
- ② 扉・可動式壁等で分割
- ③ 利用しやすい展示替えのための動線を確保(保管庫、搬入用EV等の配置)
- ④ 展示パネル、展示台等の保管庫を設置



## 【その他の芸術文化機能の検討（一例）】

### 1 1階ロビーの活用

#### ■考え方

- ①新県民会館の「顔」として賑わいづくりを創出
- ②兵庫が誇る芸術文化について、気軽に観る・知る・ふれる機会を提供

- ・ロビーを吹き抜けとし、高級感のあるくつろぎ空間とする。
- ・パフォーマンス用ロビーステージを設置し、一定レベル以上の若手アーティストに無料で発表の場を提供する。
- ・ロビーに大型デジタルビジョンを設置し、芸術文化に関する映像情報を随時提供するほか、県内の文化情報や県政PRのためのデジタルサイネージとしても活用。
- ・県内外の芸術文化の情報が入手できる情報コーナーや資料室（パンフレット、図録等）を設ける。
- ・現在のアーティストサロンに、「芸術文化の交流コーナー」を新たに設ける。
- ・新たな賑わいづくりのため、カフェやショップとのコラボレーションを検討する。



### 2 リハーサル室、スタジオの設置

#### ■考え方

- ①けんみんホールの芸術活動での利用を促進し、上質な公演を実現するため、リハーサル室を設置
- ②リハーサル以外のバレエ・ダンス・ヨガ等のレッスンルームや練習用音楽スタジオ（防音完備）としても提供

- ・片面を鏡張りとし、レッスンバーとピアノを設置することで、舞踊、音楽のレッスンの場を提供する。
- ・仕事帰りのサラリーマン等が気軽に日常の練習ができるよう、夜間利用がしやすい環境を整備する。

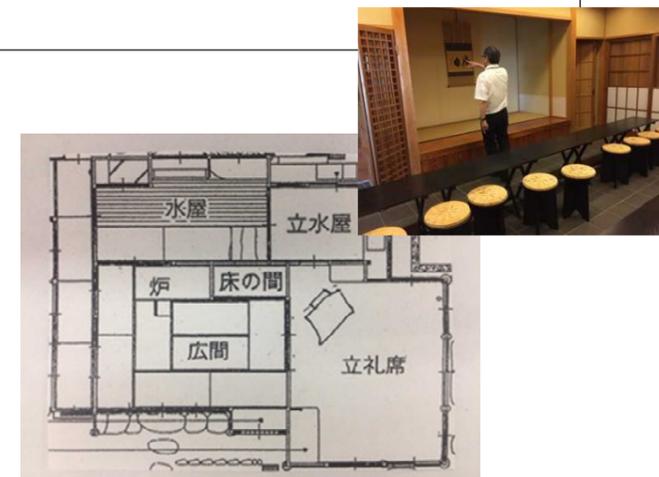


### 3 お茶室に立礼席を配置

#### ■考え方

- ①広間のほかに、立礼席を配置。広間との一体活用で、茶事にも対応できる間取りを検討
- ②インバウンドなどの外国人向け事業にも活用

- ・玄関は広間・立礼席共通とするが、片方だけの貸し出しを可能とする。（水屋を両方に設置）
- ・立礼席は、床フローリングとし、数段の階段で広間に上がり一体的に利用できる構造とする。
- ・立礼席は、待合としても、広間でのお手前の見学場所としても利用できる。



### 4 県民会館全体の壁面等利用によるギャラリー化

#### ■考え方

文化の香りあふれる館全体の雰囲気づくり

- ・壁面を利用して、県内作家の作品を展示する。